

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、このたび、下記項目の検査受託を開始することになりました。
取り急ぎご案内させていただきますので、ご利用のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- 結核菌特異的インターフェロン- γ 産生能 (T-SPOT. TB) 項目コード: 7527
- 結核菌特異的インターフェロン- γ 産生能 (QFT) 項目コード: 7521

受託開始日

平成26年10月1日(水) 受付分より新規受託開始

※ 受託要項等の詳細は、裏面をご参照ください。

【ご依頼時の注意事項】

本検査は、採血から検査開始までに時間の制限があり、また、温度管理が重要となります。
つきましては、

- 1) 採血前に担当営業所にご連絡ください。
- 2) 受託可能日は、月～金曜日となります(休日の前日は受託不可)。尚、検体は採血後、当日中にご提出ください。
- 3) 検体はご提出までの間、受託要項に記す温度で保存願います。

保健科学グループ



株式会社 保健科学研究所

本社 / 横浜市保土ヶ谷区神戸町 106 TEL 045-333-1661
仙台支社 / 仙台市宮城野区扇町 1-1-6 TEL 022-236-9345
中部支社 / 名古屋市西区則武新町 2-20-17 TEL 052-582-3201
大阪支社 / 豊中市原田中 1-2-3 TEL 06-6843-5622
福岡支社 / 福岡市博多区山王 2-14-34 TEL 092-452-0851

新潟臨床検査センター

保健科学東日本

日本ノーバメディカル研究所

いかがく

組織科学研究所

ケーアイエー細胞病理研究所

カスタムメディカル研究所

遠州予防医学研究所

日本厚生団衛生科学研究所

湘南医化学検査センター

小田原衛検

相模医研

東部メディカルセンター

新規受託項目

項目コード	検査項目	検体必要量	容器 保存方法	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 判断料	備考
7527	曜日指定 予約検査 結核菌特異的インターフェロン-γ産生能 (T-SPOT. TB)	全血 6.0 ※1	F-6 常温 (18~25℃) (32時間以内)	ELISPOT法	(-)	3~5	630 免疫 ※3	冷蔵・凍結不可・開封厳禁 予約検査・休日の前日は受付できません。 検体は採取後、当日中にご提出下さい。 他項目との重複しないよう単独検体で提出して下さい。 ※4 *ア
7521	曜日指定 予約検査 結核菌特異的インターフェロン-γ産生能 (QFT)	全血 ※2	QF 常温 (17~27℃) (16時間以内)	ELISA法	(-)	3~7	630 免疫 ※3	冷蔵・凍結不可 予約検査・休日の前日は受付できません。 検体は採取後、当日中にご提出下さい。 ※4 *ア

検査場所: 保健科学研究所 第2ラボラトリー(略号:*ア)

※1 6.0mLに満たない場合でも検査実施可能です。下記を参照願います。

※2 3種類×各1本(1.0mL)の提出となります。次ページを参照願います。

※3 診察又は画像診断等により結核感染が強く疑われる患者を対象として測定した場合のみ算定できる。

※4 依頼に際しては、「採血時間」を依頼書にご記入の上、ご依頼ください。

▼ T-SPOT. TBの検体必要量について

成人或いは10歳以上の子ども	6mL以上
2~9歳の小児	4mL以上
2歳未満の乳幼児	2mL以上

検査に十分な末梢血単核球が得られない場合には検査不能等になる場合があります。

▼ 結核菌特異的インターフェロン-γ産生能の報告形式について

(表1) T-SPOT. TBの報告形式

	項目コード	項目名称	報告形式
依頼コード	7527	T-SPOT. TB	
報告コード	7528	判定	(+)、(-)、 判定保留、 判定不可
	7529	パネルA(ESAT-6)	スポット数:整数 (スポット)
	7530	パネルB(CFP-10)	スポット数:整数 (スポット)

(表2) QFTの報告形式

	項目コード	項目名称	報告形式
依頼コード	7521	QFT	
報告コード	7522	判定	(+)、(-)、 判定保留、 判定不可
	7523	測定値A	測定値:有効数字3桁 (IU/mL)
	7524	測定値M	測定値:有効数字3桁 (IU/mL)
	7525	陰性コントロール	測定値:有効数字3桁 (IU/mL)

▼ 結核菌特異的インターフェロン- γ 産生能の判定基準

(表3) T-SPOT. TBの判定基準

判定基準
パネルA (ESAT-6) とパネルB (CFP-10) のスポット数 (+) : 両方又は一方が8以上 判定保留: 両方又は一方の最大値が5~7 (-) : 両方が4以下


(表4) QFTの判定基準

判定	測定値A (IU/mL)	測定値M (IU/mL)	解釈
(+)	0.35以上	不問	結核感染を疑う
判定保留	0.10以上 0.35未満	0.50以上	感染リスクを考慮して、総合的に判断する。
(-)	0.10未満		結核感染していない
判定不可	0.35未満	0.50未満	免疫不全等が考えられるので、判定を行わない


※ 判定保留、判定不可の場合には、再度、採血して再提出することを推奨いたします。

▼ QFT用専用容器


QF QFT用採血管



灰色
陰性コントロール



赤色
TB抗原



紫色
陽性コントロール

添加剤・内容物
ヘパリンリチウム(赤色:TB抗原、紫色:PHA)

採血量
1.0mL

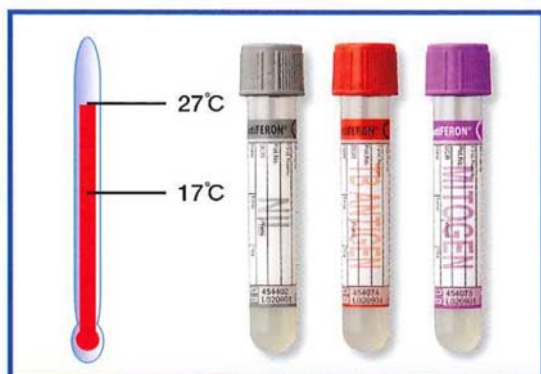
貯蔵方法
冷蔵推奨

有効期限
15ヶ月

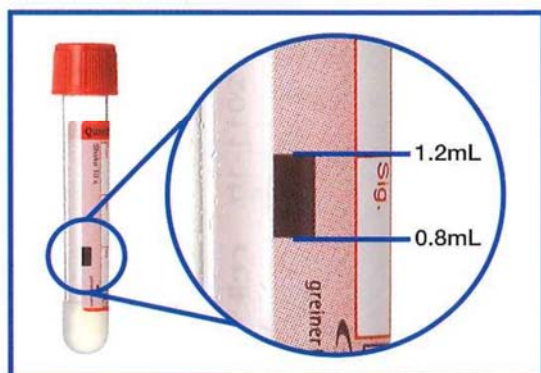
検査項目
結核菌特異的インターフェロン- γ 産生能(QFT)

備考
検体の採取方法は4ページ参照

結核菌特異的インターフェロン- γ 産生能(QFT)の採血方法

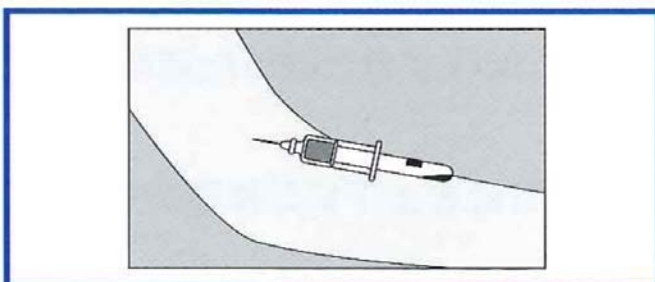


- 採血管は4～25°Cで保存すること。
- 被検者1人(1検体)に3種類の採血管(灰色、赤色、紫色)を使用。
- 採血管は室内温度(22±5°C)になってから使用する。
- 採血前に採血管のゲル部分を手で握るなどして温めないこと。

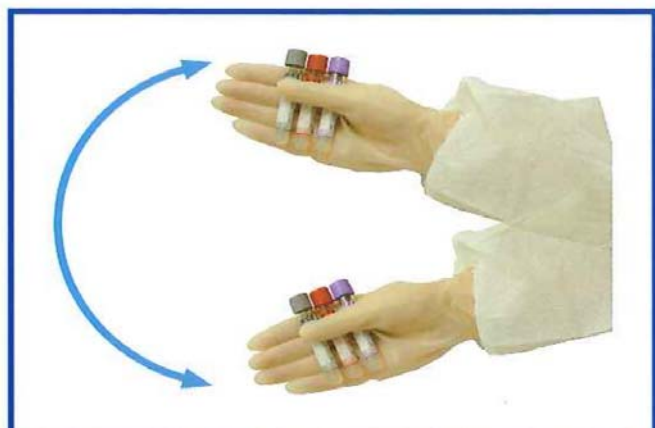


- 各採血管に規定量(1mL)を採血する。(採血は特定の順序で行う必要はないが、通常は陰性コントロール、TB抗原、陽性コントロール採血管の順序で行う。)
- 規定量の血液が採血されたことを確認する(採血量が0.8～1.2mLの範囲であれば、検査結果に影響はないが、この範囲を外れた場合は、再採血すること)。

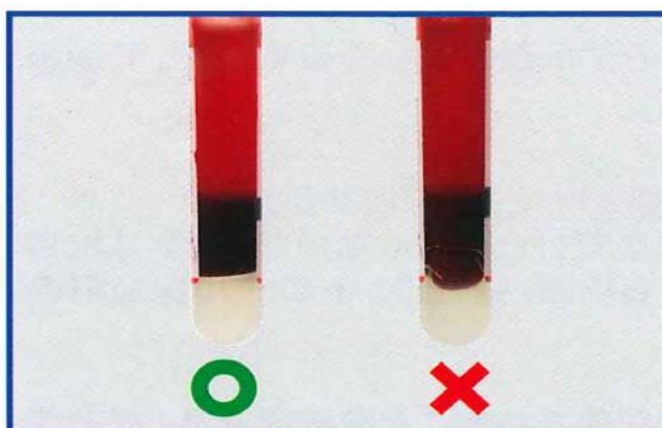
【採血方法】



- ① 採血管に真空採血管用ホルダーから直接採取する。



- ② 採血後、採血管を上下に5秒間又は10回振って混合する。



- ③ 採血管の内表面全体が血液で覆われていることを確認する。
- ④ 強く振りすぎると分離剤の成分が血液と混ざり、誤った結果になることがある。

- 採血後の血液検体は、出来るだけ早く(採血後16時間以内に)37°Cのインキュベーターに入れなければならない。
- 培養前の採血管は、22±5°Cに保存する。これ以外の温度で保存すると誤った結果になることがある。血液検体は冷蔵又は冷凍してはならない。
- 採血後、血液をすぐに培養できない時は、培養直前に再度採血管を上下に5秒間又は10回振ること。